

重力異常や重力偏差データを用いた地下構造推定、堆積盆地やカルデラ形成の数値シミュレーション、泥火山や火山地域での地殻変動



大学院理工学研究部(理学)
准教授 楠本 成寿

研究のキーワード

重力・重力偏差、物理探査、活断層、火山、地殻変動

研究の内容

重力異常や重力偏差を用いた地下構造推定手法の研究・開発をおこなっています。また、火山活動を含む地殻物理学を専門としています。構造盆地、陥没カルデラ、溶岩ドームの形成過程に興味をもち、これらを観測、解析の手法、数値シミュレーション等により研究しています。また、共同研究等により、破壊力学に基づくダイクの成長や伏在断層の活動による堆積層の変形領域の推定や評価についての研究も行っています。

産学連携・特許

共同研究：株式会社 地球科学総合研究所、住鉱資源開発株式会社、一般財団法人 地域地盤環境研究所 等

科研費等外部資金

- 2016年-2019年 基盤研究B「噴火が迫るタールおよびマヨン火山のマグマ・熱水システムの解明」(分担)
2015年-2016年 挑戦的萌芽研究「重力偏差計データの有効利用に向けた引力探査の提案とその基礎的研究」(代表)
2005年-2006年 若手研究B「マグマ溜りの深さがカルデラ形状に与える影響」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

- 2016年 物理探査学会 学会賞(論文賞)
小学校や自治体主催の市民講座での地震や火山についての講演

研究の概要図